【事業実施主体の効果検証】平成30年度　地方創生推進交付金の効果検証

事業名：　活力ある農業づくり事業

担当課：　農林振興課

事業費：　4,214,359円（内交付金2,335,000円）

本事業の内容及び目的

邑南町は、平成27年度から「西洋野菜」の栽培を特徴の一つとした「邑南野菜」のブランド化を進めている。本計画では、町内に所在する矢上高校と連携して生産体制の拡大、販路開拓、西洋野菜の普及活動を行い、生産農家及び「邑南野菜」を食材として利用する町内飲食店の収益力向上を図る。

本事業における重要業績評価指数（KPI）	H28	H29	H30	H31
新規就農者の確保：４人（事業開始前からの増加分、平成30年度）		0	2	
邑南町西洋野菜研究会の会員増加：４人（事業開始前からの増加分、平成30年度）		0	3	
「邑南野菜」を素材とした事業展開、メニュー展開：１件（事業開始前からの増加分、平成30年度）		1	2	

事業効果／成果及び評価の判断理由	実績値を踏まえた事業の今後の展開について
邑南野菜、西洋野菜について 邑南野菜のPR資材（リーフレット、シール）を作成し、道の駅や観光施設、飲食店に設置するとともに、物販や西洋野菜活用セミナー等のイベント時にも活用し、PRを行った。その結果、町外の飲食店や卸会社からも問い合わせが増えた。また、西洋野菜研究会の会員も3名増加した。	次年度が交付最終年度になるので、次年度以降の運営方法や方向性をまとめていきたい。具体的な事業については、町内外飲食店に対して、邑南野菜を活用していることを示すシールやサイト等の作成を行う。また、西洋野菜研究会については、新しい栽培品目に挑戦することと今後の運営方法をまとめていく。

■西洋野菜がどのようなものなのか良く分かりませんが、需要と供給のバランスがどのようになっているのか不明ではあるが、町菜飲食店、特に県外の方が多く利用する場所での提供など積極的に行い周知を図ることが大切と考える。余裕があるの出れば町内の方へ広くご案内をすることも必要と考える。

■本格的に新規就農者を拡大させていくには、現在の生産者を中心的生産メンバーとした、買い取り・外販の仕組みづくりが重要だと思います。そうすれば、生産者の裾野を地域の農家にまで拡大することも期待できるのではないでしょうか。またロットが大きくなれば、更に、新規就農者が参入する余地も生まれるのではないかと思います。
■将来的に西洋野菜振興が町内により経済効果をもたらすためには、西洋野菜と和野菜の組み合わせ販売や、西洋野菜を利用した加工品の製造・販売も重要になると思います。

■邑南野菜の特長、魅力が分かりづらい。ブランド化に向けては、その点をしっかりと打ち出す必要があるのでは？

■他が作っていない野菜の生産及びそれを使った料理の提供など話題作りとしては良いと思う。